

2011年12月1日

横浜ゴム、「環境+人、社会にやさしい」グローバルコンセプト「BluEarth」から ブルーアース エース 低燃費タイヤに力強い走りをプラスした「BluEarth-A」新発売

横浜ゴム（株）は「環境性能のさらなる向上+人に、社会にやさしい」をテーマとした新しい低燃費タイヤ「BluEarth（ブルーアース）」シリーズに、コンパクトカーから高級セダンまで対応するマルチパフォーマンス性を兼ね備えた「BluEarth-A（ブルーアース・エース）」を2012年2月27日より順次発売する。国内のタイヤラベリング制度でころがり抵抗性能：A、ウェットグリップ性能：bにグレードされる。発売サイズは245/40R19 98W～175/65R14 82Hの全38サイズで、価格はオープンプライス。

「ブルーアース・エース」は、低燃費タイヤのカテゴリーにおいて、高い運動性能と快適性能をもつドライビングプレジャーの追求をテーマとして開発された。特に雨の日の安心感を主眼とし、当社従来品比でウェット制動距離が20%低減*している。さらに、高級セダンにふさわしい静粛性、快適性、ドライグリップ性能を備えており、多くのユーザーが求めるトータルパフォーマンスを高レベルでバランスさせた商品となっている。燃費性能は、当社一般的商品と比較し4.4%向上*を実現。また、周辺生活環境に配慮し、車外通過騒音を0.5dB低減*しており、「環境+人、社会にやさしいブルーアース」コンセプトを踏襲している。ガソリン車やハイブリッドカーを問わず、高級セダンを中心に幅広い車種をターゲットとしており、今後「ブルーアース」シリーズの中核商品として販売していく。

技術的には、ヨコハマの基幹コンパウンド技術である「ナノブレンドゴム」をベースに、特性の異なる2種類のシリカを配合した「ダブルシリカ配合の専用ナノブレンドゴム」を開発。これにより、ハイレベルなウェット性能に加え、低燃費性能と耐摩耗性能の両立を実現した。また、高い運動性能と摩耗末期の静粛性を確保した専用の非対称トレッドパターンを採用。さらに、しっかり感としなやかさを両立させ、重量級セダンの荷重にも耐えうる専用プロファイルを開発した事で、ハイレベルなトータル性能を発揮する。



「ブルーアース」は横浜ゴムが世界中で展開するグローバルコンセプトで、優れた環境性能に加え、ドライバーや同乗者、さらに周辺生活環境に対する負荷を低減する（やさしい）性能の実現をメインテーマとしている。「ブルーアース」シリーズでは現在、フラッグシップタイヤ「ブルーアース・ワン」、ミニバン専用プレミアム「ブルーアース RV-01」、スタンダードタイヤ「ブルーアース AE-01」を販売中。海外では今年4月から欧州で販売を開始している。

※詳細なテスト内容は参考資料の性能データをご覧ください。性能データについては、タイヤ公正取引協議会に届け出てあります。

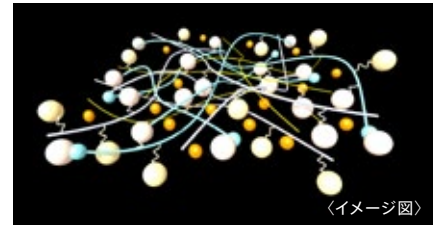
発売サイズ

インチ	偏平率	タイヤサイズ	発売予定日	インチ	偏平率	タイヤサイズ	発売予定日
19	40	225/40R19 89W	2012年2月27日	16	50	205/50R16 87V	2012年2月27日
		★245/40R19 98W			55	185/55R16 83V	2012年2月27日
	★225/45R19 96W	195/55R16 87V					
	245/45R19 98W	205/55R16 91V					
18	45	225/45R18 91W	2012年2月27日		215/55R16 93V	2012年4月1日	
	50	235/50R18 97W	2012年4月1日		60	175/60R16 82H	2012年2月27日
17	45	★205/45R17 88W	2012年2月27日			185/60R16 86H	
		★215/45R17 91W				195/60R16 89H	
		★225/45R17 94W	2012年4月1日			205/60R16 92H	
		★245/45R17 99W				215/60R16 95H	
50	★205/50R17 93V	2012年2月27日	65	205/65R16 95H	2012年2月27日		
	215/50R17 91V		55	185/55R15 82V	2012年2月27日		
	225/50R17 94W			195/55R15 85V			
55	215/55R17 94V	2012年2月27日	60	175/60R15 81H	2012年2月27日		
	225/55R17 97W			185/60R15 84H	2012年4月1日		
60	215/60R17 96H	2012年2月27日		195/60R15 88H	2012年2月27日		
★印はエクストラロード規格				15	65	175/65R15 84H	2012年4月1日
						185/65R15 88H	2012年2月27日
						195/65R15 91H	
						205/65R15 94H	
14	65	175/65R14 82H	2012年2月27日				
		185/65R14 86H					

このリリースに関するお問い合わせ先
 横浜ゴム（株）広報部 担当：菊地
 TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570

シリカ、オレンジオイル増量で、グリップを向上。 「ブルーアース・エース」専用ナノブレンドゴム。

「ブルーアース・エース」専用ナノブレンドゴムは特性の異なる2種類のシリカを採用し、量そのものも増量。さらに「オレンジオイル」も増量し、優れた運動性能を実現しました。



ナノブレンドゴム「ブルーアース・エース」仕様

ダブルシリカ採用

特性の異なる2種の高品質シリカを採用。配合比率を最適化し、ウェット性能と低燃費を高次元で両立。



オレンジオイル増量

独自素材オレンジオイルを増量。ウェット・ドライの両面で、高いグリップ力をもたらす。



〈特許取得〉

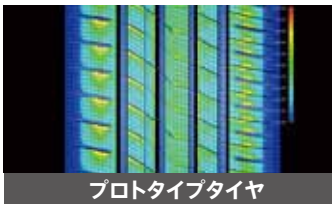


ブレンドポリマー

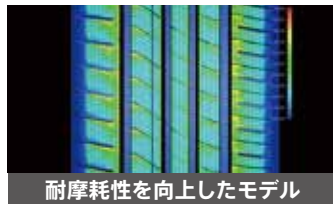
低発熱ポリマーをはじめとする複数のポリマーを配合し、高いウェット性能と、低燃費・耐摩耗のベストバランスを追求。

数々のシミュレーションにより高精度のトータルパフォーマンスを獲得。

ヨコハマ独自のシミュレーション技術を駆使して、トータルな性能バランスを高精度で追求。低燃費タイヤでありながら、優れたパフォーマンスを備えたタイヤが完成しました。



プロトタイプタイヤ



耐摩耗性を向上したモデル

摩擦シミュレーションを駆使し、耐偏摩耗性を向上。

パターン・プロファイル・構造を変更した際の摩擦エネルギーをシミュレーションして最適化。



プロトタイプタイヤ



発熱を抑制したモデル

低燃費シミュレーションを駆使し、エネルギーロスを低減。

パターン・プロファイル・構造を変更した際のエネルギーロスをシミュレーションして最適化。

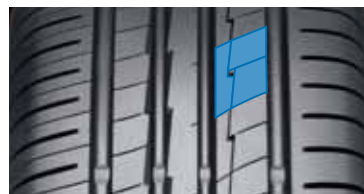
パワフルな非対称パターン、新発想のサイレント設計。

ハイパワーセダンにも対応する、高剛性トレッドパターンを新開発。また、摩耗時における静粛性の悪化にも配慮した新発想のサイレント設計を採用しています。



■ ライトニンググループ

大小2つの稲妻型グループを採用。ブロック剛性を高めつつ、総エッジ量を拡大。雨の日の運転に、安心感をもたらします。



■ パワーベルトブロック

アウト側の幅広セカンドリブで、高い操縦安定性を確保。縦長ブロックが周方向の剛性を、横長ブロックが横方向の剛性を高めるコンビネーション・ブロック。

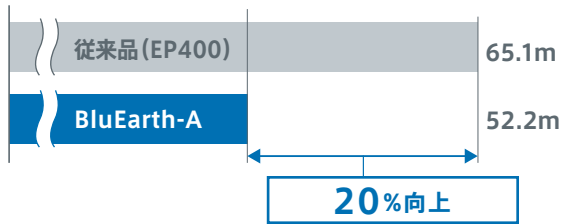


■ ディンプルショルダー

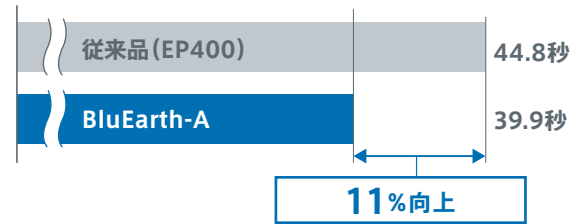
タイヤ後方で発生する気流の乱れを抑制。空気の流れをスムーズにし、タイヤの空気抵抗低減に効果を発揮。

性能データ

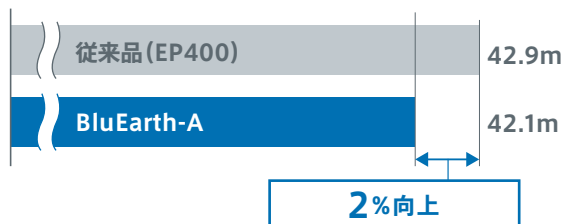
■ ウェット制動性



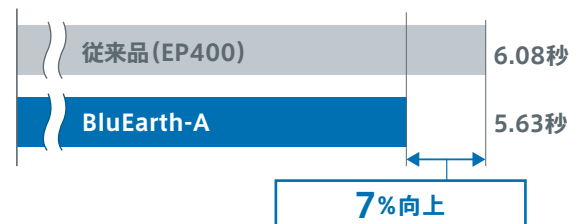
■ ウェット操縦安定性(ラップタイム)



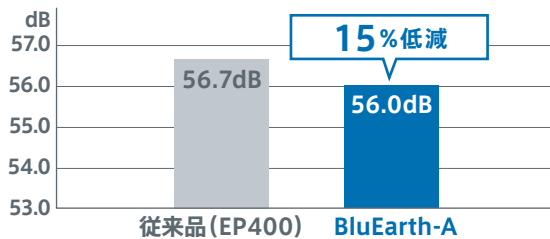
■ ドライ制動性



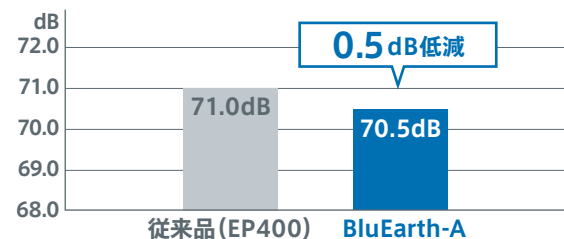
■ ドライ操縦安定性(ラップタイム)



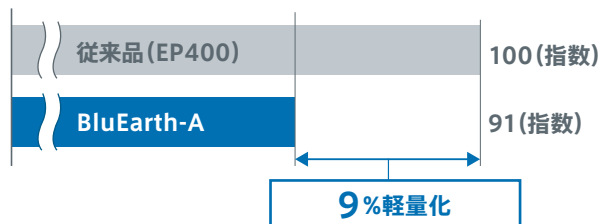
■ パターンノイズ(騒音エネルギー低減率)



■ 車外通過騒音



■ 軽量化(指数)



■ 低燃費性能(JC08モード)



●低燃費性能:<試験方法>JC08モード試験法に基づく。<試験条件>試験場所/独立行政法人交通安全環境研究所、タイヤサイズ 195/65R15 91H (AE50)・195/65R15 91S (ES300)、リムサイズ 15×6、車両トヨタ オリス (DBA-ZRE152H (平成20年式)、1800cc、前輪駆動) 空気圧 F:230kPa/R:230kPa、荷重 2名乗車相当※燃費消費率は定められた試験条件での値です。お客様の車両、タイヤサイズ、使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率の向上度合いは異なります。<試験結果>ES300 (DNA ECOS)「100」/ AE50 (BluEarth-A)「104.4」●ウェット操縦安定性:<試験方法>当社テストコース内ウェット低μハンドリング路を走行しラップタイムを計測。各タイヤ6回計測を行い、最大・最小を除いた4回の平均値を算出。<試験条件>タイヤサイズ 205/55R16 91V (EP400・AE50)、リムサイズ 16×6.5J、空気圧 200kPa、荷重 2名乗車相当、車両 ゴルフVI (ABA-1KCAX,1400cc、前輪駆動)、水深1mm<試験結果>EP400「44.8秒」、AE50「39.9秒」●ウェット制動性:<試験方法>当社テストコースにてGPS付計測器装着によるブレーキ試験を実施。各タイヤ5回計測を行い、最大・最小を除いた3回の平均値を算出。<試験条件>タイヤサイズ 205/55R16 91V (EP400・AE50)、リムサイズ 16×6.5J、空気圧 200kPa、荷重 2名乗車相当、車両 ゴルフVI (ABA-1KCAX,1400cc、前輪駆動)、水深1mm<試験結果>EP400「65.1m」、AE50「52.2m」●ドライ操縦安定性:<試験方法>当社テストコースにてGPS付計測器装着によるブレーキ試験を実施。各タイヤ5回計測を行い、最大・最小を除いた3回の平均値を算出。<試験条件>タイヤサイズ 205/55R16 91V (EP400・AE50)、リムサイズ 16×6.5J、空気圧 200kPa、荷重 2名乗車相当、車両 ゴルフVI (ABA-1KCAX,1400cc、前輪駆動)、水深1mm<試験結果>EP400「42.9m」、AE50「42.1m」●パターンノイズ:<試験方法>当社テストコースにて周回路を走行した際の車内音を計測。<試験条件>タイヤサイズ 205/55R16 91V (EP400・AE50)、リムサイズ 16×6.5J、空気圧 200kPa、荷重 2名乗車相当、車両 ゴルフVI (ABA-1KCAX,1400cc、前輪駆動)、速度60km/h<試験結果>EP400「56.7dB」、AE50「56.0dB」●車外通過騒音:<試験方法>当社テストコースにてISO路を走行した際の車外騒音を計測。<試験条件>タイヤサイズ 205/55R16 91V (EP400・AE50)、リムサイズ 16×6.5J、空気圧 180kPa、荷重 4.53kN、車両 ゴルフVI (ABA-1KCAX,1400cc、前輪駆動)、速度80km/h<試験結果>EP400「71.0dB」、AE50「70.5dB」※タイヤの表示に関する公正競争規約に定められた試験方法で試験を行っています。詳細なデータはタイヤ公正取引協議会に届けています。試験結果はあくまでもテスト値であり、運転の仕方によっては異なります。

※音圧差での騒音エネルギー低減率の換算式は、
騒音エネルギー低減率(%) = $\left(\frac{1}{10^{\frac{\text{音圧差}}{10}}} - 1\right) \times 100$